

2023年

癸卯（みずのと う／きぼう）

「癸」 みずのとは、「揆」はものを「はかる」という意味で、はかるには規準が必要となることから「のり」規則の則の意味ともなり、諸事を取り仕切る意味ともなり、国を取り仕切るは「総理」、各省庁を取り仕切るは「大臣」、各企業を取り仕切るは「社長」、これみな「揆」である。
したがって今年はトップが諸事取り仕切れるかが問題となる。取り仕切れなければ「一揆」ということになる。

「卯」 うは、真ん中の二本の棒が門柱を表わしており、これまで閉じられていた門が、今年はじめて開いた。開いてみれば中は、いまだ未整備、雑草や樹木の無駄におい茂った野原がある。これを整備開拓して有効地にする意味がある。

「癸卯」では、何らかの新しい可能性が出てくるが、これを見事に開拓出来るかどうか。また、正しい道理に則ったり、諸事が進めば、順調な年にもなるが、少々でも誤まれば混乱ともなり、一揆ともなる。

2024年の「甲辰」は天災の意も読めるので、大混乱になる。そこで何とか2023年を平穏に乗り切りたいものである。

2024年 甲辰（きのえ たつ／こうしん）

2025年 乙巳（きのと み／いつし）

2026年 丙午（ひのえ うま／へいご）